

第二種電気工事士通信講座おすすめランキング8選 評価ガイドライン

発行日:2026年3月22日

発行元:各種通信講座 - 株式会社キャリア・ブレーション 比較・検証編集部

1. 本ランキングの目的と基本方針

本ガイドラインは、第二種電気工事士試験対策の通信講座8社を客観的かつ透明性のある基準で評価・ランキング化するための評価方針と採点基準を定めるものである。

基本方針

- 受験生が講座選びに必要な情報を公正に提供する
- 各講座の公式サイト・公式発表データを一次情報として重視する
- 5つの評価軸による定量評価を採用し、評価者の主観を最小限に抑える
- 各評価軸の配点を均等（各20点、合計100点満点）とし、特定の軸に偏らないバランスの取れた評価を行う
- 評価根拠を明示し、第三者が検証可能な透明性を確保する

2. 評価項目と配点

配点構成（100点満点）

評価軸	配点
(1) 教材・講義の質	20点
(2) 学習カリキュラム	20点
(3) 受講料（コスパ）	20点
(4) 合格実績	20点
(5) サポート体制	20点
総合評価	100点

総合評価 = 5軸の合計（100点満点）

3. 評価基準の詳細スコアリング

各軸20点満点、1点刻みで採点する。以下の基準は全資格キーワード記事で共通使用し、記事ごとに基準を変更してはならない。

(1) 教材・講義の質（20点満点）

スコア	採点基準詳細
19~20	フルカラーテキスト+デジタルブック併用、150時間以上の映像講義、スマホアプリ対応、サンプル講義公開
17~18	フルカラーまたは高品質テキスト、150時間以上の映像講義、Web視聴対応
15~16	テキスト品質は標準的（モノクロ含む）だが講義時間が150時間以上、複数視聴形態対応
12~14	テキスト・講義ともに標準的、デジタル対応は限定的
9~11	テキストまたは講義のいずれかに課題あり、講義時間が100時間未満
7~8	テキスト・講義ともに基本的な内容に留まる

(2) 学習カリキュラム (20点満点)

スコア	採点基準詳細
19~20	学科+技能の体系的カリキュラム、複数コース体系（レベル別・セット/単科）、添削・模試あり、段階的学習設計が明確
17~18	複数コース体系、学科+技能のバランスが良い、添削あり、通学+Web等の学習形態選択肢あり
15~16	コース体系は限定的だが内容は充実、添削あり、通学またはWebの選択肢あり
12~14	基本コースは整備されているが、学習形態の選択肢が少ない
9~11	コース設計が最低限、学習ステップの明示が不十分
7~8	カリキュラム構成が不明確

(3) 受講料 (コスパ) (20点満点)

スコア	採点基準詳細
19~20	実質負担額（部材・工具込み）5万円以下、返金保証+合格特典+教育訓練給付の複合メリット、圧倒的なコスパ
17~18	実質負担額5~6万円程度、教育訓練給付対象+部材セット付属、または返金保証あり
15~16	実質負担額6~7万円程度、教育訓練給付対象または合格特典のいずれかあり
12~14	実質負担額6~7万円程度、給付金・特典なし。または実質負担額7万円超だが通学環境込み
9~11	実質負担額7万円以上、給付金・特典なし/限定的
7~8	実質負担額8万円以上、給付金・特典いずれも限定的

(4) 合格実績 (20点満点)

スコア	採点基準詳細
19~20	合格率を具体的数値で公表、全国平均を大幅に上回る実績、累計合格者数も明示
17~18	合格率または合格者数を具体的に公表、全国平均を上回る実績あり
15~16	過去に合格率を公表した実績あり、大手としてのブランド信頼性
12~14	合格実績は非公開だが、業界での知名度・歴史がある
9~11	合格実績非公開、一定の歴史はあるが具体的実績が乏しい
7~8	合格実績に関する情報がほとんどない

(5) サポート体制 (20点満点)

スコア	採点基準詳細
19~20	質問対応充実（無制限 or 豊富な回数）、添削あり、延長サポートあり、技能添削・就転職支援等の付加サービスあり
17~18	質問対応充実、添削あり、個別フォローあり
15~16	質問対応あり（回数制限付き）、添削あり、延長サポートあり
12~14	質問対応あり（回数制限あり）、添削あり
9~11	質問対応は限定的、添削あり
7~8	サポートが最低限

4. 全8社の総合評価一覧表

順位	商材名	教材・講義	カリキュラム	受講料	合格実績	サポート	総合点
1位	ユーキャン	19	18	17	18	20	92点
2位	キャリアカレ	16	16	19	17	18	86点
3位	TAC	18	17	18	11	18	82点
4位	日本エネルギー管理センター	16	15	12	20	16	79点
5位	SAT	15	14	14	11	14	68点
6位	JTEX	14	14	11	10	13	62点
7位	CIC	13	12	12	10	12	59点
8位	オンスク.JP	11	11	16	7	11	56点

5. 各社スコア内訳と評価理由

5-1. ユーキャン (92点)

評価項目	スコア	評価根拠
教材・講義の質	19/20	テキスト+DVD+Web動画の3媒体で多角的に学べる。複線図解説動画全13題完備。30年以上の開講実績に裏打ちされた教材完成度は業界随一。初学者89.4%でも合格を目指す設計で、基礎数学・公式集・用語集まで網羅
学習カリキュラム	18/20	本科8カ月のじっくり型カリキュラムで無理なく学べる。添削8回（模試含む）は到達度確認の機会が豊富。デジタル学習サイトでWebテスト・講義動画をいつでも利用可能。技能試験コース（3カ月）も単独受講可
受講料（コスパ）	17/20	本科64,000円で部材44点セット付属は手厚い。教育訓練給付対象で実質約51,200円。分割払い（月4,980円×13回）にも対応しており支払いの柔軟性が高い。通信教育最大手の安心感も含めた総合的なコスパは高水準
合格実績	18/20	過去10年で4,452名合格と具体的数値を公表。合格率は非公表だが、30年以上の開講実績と累計合格者数の多さは業界トップクラスの信頼材料。通信教育最大手としてのブランド力・ノウハウ蓄積は他社にない強み
サポート体制	20/20	1日3問まで経験豊富な講師に質問可能（メール・郵便）。添削8回で学習の軌道修正が効く。標準学習期間終了後も翌年試験月まで全サービス延長は業界最長水準。通信教育最大手ならではの手厚く安定したサポート品質
総合	92/100	30年以上の開講実績と累計4,452名合格の圧倒的なブランド力、テキスト+DVD+Webの3媒体教材、添削8回+翌年試験月まで延長の手厚いサポートにより、総合力で他校を大きく引き離す。初学者89.4%でも安心して学べる設計が最大の強み。教育訓練給付対象で実質コスパも優秀。

5-2. キャリカレ (86点)

評価項目	スコア	評価根拠
教材・講義の質	16/20	テキスト6冊+別冊「鑑別対策」で試験範囲を網羅。映像講義で工具の使い方から公表課題12問の作業映像まで対応。イラスト・図表多用で初学者にわかりやすい設計
学習カリキュラム	16/20	3カ月完結（学科1~2カ月+技能1カ月）の短期集中型。添削6回で学習ペースを維持。一問一答（Web・スマホ対応）とダウンロード問題集でスキマ時間も活用可能
受講料（コスパ）	19/20	キャンペーン時29,800円は破格。不合格時全額返金保証でリスクゼロ。合格で2講座目無料の特典は実質的な価値が非常に高い。教育訓練給付対象。大阪府民はスキルアップ支援金（75%補助）の可能性もあり、コスパ面の総合力は最強
合格実績	17/20	合格率70.9%（2024年度）を具体的数値で公表。全国平均（学科56%・技能72%）と比較可能。累計受講者4,858人の実績あり。合格率を明示する姿勢は信頼性が高い

サポート体制	18/20	専任講師への質問が何度でも無料（無制限）。添削6回。就転職サポート（求人紹介・職務経歴書・面接対策）と合格後の開業支援まで、資格取得後のキャリアまで見据えた手厚い支援体制
総合	86/100	キャンペーン時29,800円の破格の受講料に加え、不合格時全額返金保証・合格で2講座目無料という業界屈指の保証・特典制度により、コスパ面で最高評価。合格率70.9%の数値公表も信頼性が高い。短期集中型カリキュラムと質問無制限の組み合わせで、効率的に合格を目指す。

5-3. TAC (82点)

評価項目	スコア	評価根拠
教材・講義の質	18/20	「みんなが欲しかった！」シリーズ採用。CBT練習Webトレーニング提供。教室講座・ビデオブース講座も選択可能で学習スタイルの幅が広い。ニッパー使用方式で効率的な技能指導
学習カリキュラム	17/20	学科5回+技能5回の体系的カリキュラム。約4~5カ月の計画的な学習設計。学科直前チェック講座（3,000円）や技能復習ケーブルセット（6,000円）のオプションも充実
受講料（コスパ）	18/20	工具・部材込みで60,000円（早割）。教育訓練給付で実質48,000円は全込み価格で最安水準。通学・通信を同価格帯で選べる柔軟性も含めたコスパは非常に高い
合格実績	11/20	合格率・合格者数ともに非公表。体験談のみ。大手予備校としての信頼性・ブランド力はあるが、数値根拠に欠ける点がマイナス
サポート体制	18/20	質問メール30回（学科20+技能10）。技能添削最大15回は業界最多級。条件付き半年延長あり（Web通信のみ）。教室講座では対面添削も可能
総合	82/100	「みんなが欲しかった！」シリーズの高品質教材と技能添削最大15回（業界最多級）が最大の強み。工具・部材込みで教育訓練給付適用後48,000円は全込みコスパで最安水準。教室講座での対面指導も選択可能。合格実績が非公表である点が課題。

5-4. 日本エネルギー管理センター (79点)

評価項目	スコア	評価根拠
教材・講義の質	16/20	電気工事・保安管理の実務会社（ワイズネット）が運営。「複線図を書かずに結線する方法」など実践的指導。講師+補助講師2名体制で手厚い技能指導
学習カリキュラム	15/20	学科1~2ヵ月+技能1~2ヵ月の合計2~4ヵ月。通学（東京・神奈川・埼玉・名古屋・大阪）とオンラインの選択肢あり。公表問題全13課題を対策
受講料（コスパ）	12/20	オンライン組み合わせで56,964円（工具別途）。給付金非対象。通学+工具込みだと77,600円とやや高め。返金保証・合格特典もなし
合格実績	20/20	合格率90%以上（全国平均約50%の約1.8倍）。累計合格者2万人突破。具体的数値を明確に公表しており、全8社中で圧倒的な合格実績
サポート体制	16/20	講義中に講師+補助講師へ質疑応答可能。完成品をプロの厳しい目でチェックしフィードバック。ただし通信形式での質問回数・添削回数の上限は不明
総合	79/100	合格率90%以上という全8社中で圧倒的な合格実績が最大の強み。電気工事の実務会社が運営しているため、実践に即した技能指導は他校にない特徴。通学拠点での対面指導は技能試験対策に有効。受講料がやや高めで給付金非対象な点と、通信形式でのサポート詳細が不明な点が課題。

5-5. SAT (68点)

評価項目	スコア	評価根拠
教材・講義の質	15/20	フルカラーテキスト176P、映像17.9時間と映像教材は充実。過去問10回分。暗記カード機能やスマートEシステムなどデジタル学習機能が豊富。アガルートアカデミー経由でも受講可能
学習カリキュラム	14/20	レベル別3パターン（初心者6ヵ月/中級者3ヵ月/上級者2ヵ月）で柔軟。ただし添削なしで、学習の到達度を客観的に測る仕組みが弱い
受講料（コスパ）	14/20	講座21,780円は安い。部材・工具別途で総額55,901円。30日返金保証あり。不合格時の質問リセット+6ヵ月延長は独自の救済措置として好評価
合格実績	11/20	利用者30,000人以上だが合格率非公表。「通常の倍以上の合格率を誇る人気講師が担当」との記載はあるが具体的な数値なし
サポート体制	14/20	質問10回まで無料（超過1回500円）。講師が図解資料を個別作成して回答。添削なし。不合格時質問回数リセット+6ヵ月延長は独自の救済措置
総合	68/100	フルカラーテキストとデジタル学習機能（暗記カード・スマートE）は充実しており、eラーニング単体の講座価格21,780円はリーズナブル。ただし部材・工具別途で実質総額は上がる。添削なし・質問10回制限とサポート面でやや物足りない。不合格時の質問リセット+延長は独自の救済措置として評価できる。

5-6. JTEX（62点）

評価項目	スコア	評価根拠
教材・講義の質	14/20	テキスト3冊、初心者向けに計算問題の途中式・単位を丁寧に解説。QRコード動画で公表問題13問の合格解答を視聴可能。東京都認可の職業訓練法人としての教育品質。ヒューマンアカデミー経由でも受講可能
学習カリキュラム	14/20	D07Cは4ヵ月、添削4回（記述式）。部材セット13問分付属。「ONE POINT」コーナーで基礎数学をサポートするなど初学者への配慮あり
受講料（コスパ）	11/20	D07Cは53,900円+工具別途で66,264円。教育訓練給付非対象。返金保証・合格特典もなし。特別受講料（51,700円）の適用条件が不明瞭
合格実績	10/20	合格率・合格者数ともに非公表。累計受講者52,000人（全講座合計）は参考程度。実績の判断材料が乏しい
サポート体制	13/20	添削4回（記述式）はあるが、質問券2枚のみと質問機会が少ない。在籍期間延長は原則不可。修了認定制度あり
総合	62/100	東京都認可の職業訓練法人として教育品質に一定の信頼性がある。D07Cコースは部材セット13問分付属で技能対策に配慮。ただし質問券2枚のみ・在籍期間延長不可とサポート面で制約が多い。合格実績の具体的なデータが不足している点と、教育訓練給付非対象でコスパ面での訴求力がやや弱い点が課題。

5-7. CIC（59点）

評価項目	スコア	評価根拠
教材・講義の質	13/20	映像教材約15.5時間（学科8.5h+技能7h）。HOZAN社製工具セット選択可。スタートアップガイドや対策ハンドブックで初学者に配慮
学習カリキュラム	12/20	映像中心の学習設計。添削の有無が公式サイトに明記なし。カリキュラムの体系的なゴール設定が不透明
受講料（コスパ）	12/20	講座のみ23,650円は安い。工具・部材込み70,400円は割高。給付金非対象。特典・保証もなし。部材・工具を別途購入（57,771円）のほうが安くなる逆転現象あり

合格実績	10/20	合格率・合格者数ともに非公表。受講生5万人以上（全講座合計）は参考程度。施工管理技士がメイン事業で電気工事士は副次的
サポート体制	12/20	講師質問+メール質問あり。ただし質問回数・添削回数が不明で、サポートの厚みを判断しづらい。試験日当日までサポート
総合	59/100	HOZAN社製工具セット選択可で、工具の品質には信頼がおける。映像教材約15.5時間で学科・技能をカバーするが、添削の有無やカリキュラムの体系的性が不透明。講座のみ23,650円は安いですが工具・部材込みだと割高になる逆転現象が課題。合格実績の具体的なデータが不足している。

5-8. オンスク.JP (56点)

評価項目	スコア	評価根拠
教材・講義の質	11/20	講義動画87回（約16時間）で学科・技能を網羅。映像のみで部材・工具は一切なし。技能試験の実技練習は完全に自己手配が必要
学習カリキュラム	11/20	10単元・115問の練習問題。学科・技能の両方をカバーするが、添削なし。標準学習期間の目安も非公表。自律的に学べる人向け
受講料（コスパ）	16/20	月額1,078円～は圧倒的安さ。部材+工具を加えても約40,589円で全8社中最安。70講座以上受け放題の付加価値で、複数資格を目指す人には最もコスパが高い
合格実績	7/20	合格率・合格者数ともに一切非公表。実績の判断材料が皆無だが、月額制サービスの性質上、合格追跡が困難な面もある
サポート体制	11/20	個別の講師質問なし。「みんなの学習相談」（受講者同士Q&A）と学習カルテ機能で自己管理。添削なし。受講修了証はスタンダードプランのみ発行
総合	56/100	月額1,078円～という圧倒的な安さと70講座以上受け放題の付加価値は唯一無二。複数資格の同時学習を目指す人にとってはコスパ最強。ただし部材・工具は一切なく自己手配が必要、添削なし・講師質問なしとサポート面はセルフサービス型。合格実績の判断材料がない点も含め、自律的に学べる経験者向け。

6. 各評価項目の講座間比較サマリー

(1) 教材・講義の質 トップ3

- ユーキャン (19/20): テキスト+DVD+Web動画の3媒体、複線図解説動画全13題完備、30年以上の開講実績
- TAC (18/20): 「みんなが欲しかった！」シリーズ、CBT練習Webトレーニング、教室・ビデオブース講座も選択可
- キャリカレ (16/20): テキスト6冊+別冊「鑑別対策」、工具の使い方から公表課題12問の作業映像まで対応

(2) 学習カリキュラム トップ3

- ユーキャン (18/20): 本科8カ月のじっくり型、添削8回（模試含む）、技能試験コース単独受講可
- TAC (17/20): 学科5回+技能5回の体系的カリキュラム、約4~5カ月の計画的設計、オプション充実
- キャリカレ (16/20): 3カ月短期集中型、添削6回、一問一答+ダウンロード問題集

(3) 受講料（コスパ） トップ3

- キャリカレ (19/20): キャンペーン時29,800円、不合格時全額返金保証、合格で2講座目無料、教育訓練給付対象
- TAC (18/20): 工具・部材込み60,000円、教育訓練給付で実質48,000円、全込み価格で最安水準
- ユーキャン (17/20): 本科64,000円で部材44点付属、教育訓練給付対象で実質約51,200円

(4) 合格実績 トップ3

- 日本エネルギー管理センター (20/20): 合格率90%以上（全国平均の約1.8倍）、累計合格者2万人突破

- ユーキャン (18/20): 過去10年で4,452名合格、30年以上の開講実績
- キャリカレ (17/20): 合格率70.9% (2024年度)、累計受講者4,858人

(5) サポート体制 トップ3

- ユーキャン (20/20): 1日3問まで質問可能、添削8回、翌年試験月まで延長は業界最長水準
- キャリカレ (18/20): 質問無制限、添削6回、就転職サポート+開業支援付き
- TAC (18/20): 質問メール30回、技能添削最大15回 (業界最多級)、条件付き半年延長あり

7. 提携販売に関する注記

- SAT / アガルートアカデミー:

アガルートアカデミーはSATの教材を提携販売している。教材・講義の提供元はSATであるため、本評価ではSATとして一本化して評価する

- JTEX / ヒューマンアカデミー:

ヒューマンアカデミー通信講座はJTEXの教材を提携販売している。教材・講義の提供元はJTEXであるため、本評価ではJTEXとして一本化して評価する

8. 免責事項

- 本ガイドラインに記載の受講料・サービス内容・合格実績等は、各講座の公式サイト・公式発表資料を元に2026年3月時点で確認した情報に基づいています。最新情報については各講座の公式サイトをご確認ください
- 合格率の算出方法 (分母の定義) は講座により異なります。数値の単純比較には注意が必要です
- 教育訓練給付金・リスクリング補助金の対象可否は、コース・受講時期・個人の受給要件により異なります。詳細はハローワークまたは各講座にお問い合わせください
- キャンペーン価格・割引制度は時期により変更される場合があります
- 実質総費用の算出にあたり、部材・工具が付属しない講座は市販品 (部材セット: 約21,757円 / 工具セット: 約12,364円) の別途購入費を加算しています。実際の購入価格は時期・店舗により異なります
- 本評価は記事執筆時点の公開情報に基づく独自評価であり、各講座の品質を保証するものではありません